

わたしたちが実行するまち

わたしたちが考え

市民力

総社スタイル／地産地消



127人

地・食に協力する農産物の生産者数

**地** 産地消を推進するため、そうじゃ「地・食べ」委員会が平成23年3月に発足し、2年目に突入しました。学校給食へ市内産の農作物を供給する取り組みも定着。5月末現在で、地・食べに協力している生産者が、127人に拡大し、農産物の安定供給を支えています。

地・食べ生産者の一人、山本義郎さん（西郡）は、5月の学校給食へ、キュウリを納入。「私の作ったキュウリは甘いので、子どもたちにおいしく食べてもらいたい」と話します。

山本さんのほか、山手地区や水内、清音軽部などの生産者が、タマネギやハクサイ、ニンジンなどを納入。学校給食で使用する市内産の野菜の割合も増え、地産地消を通じた食育の推進にも貢献しています。

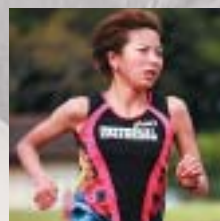
地・食べの取り組みで、生産者が儲かる野菜づくりを実現すれば、私もやってみようという新たな生産者が生まれ、ますます地産地消が推進されることが期待されています。

地・食べの取り組みで、生産者が儲かる野菜づくりを実現すれば、私もやってみようという新たな生産者が生まれ、ますます地産地消が推進されることが期待されています。

速報

ロンドンオリンピック 出場決定！  
陸上・女子5000m

新谷 仁美さん（西郡出身）



写真提供：ユニバーサル  
エンターテインメント

大阪で行われた陸上・第96回日本選手権兼ロンドン五輪代表選考会の最終日（6月10日）、女子5000メートルで、西郡出身の新谷仁美さん（ユニバーサルエンターテインメント）が優勝。初めてオリンピックへの切符を手に入れました。

～この夏の思い出に～

総社の夏祭り

雪舟くん “のり得！サービス”

乗ったら得するんじゃなあ

